

H19 山口大学医学部医学科 グラジュエーションポリシー(GP)

A. 自己開発能力：医学科の教育プログラムと教育目標を把握し、生涯にわたって学ぶ習慣を身につけ、医学・医療の変化や医師の社会的役割の変化へ対応できる自己開発能力の向上を図り、修学に積極的に取り組むことができる。

B. 豊かな人間性の涵養：教養科目を含む医学教育全体を通じて教養と倫理性を高め、患者中心の医療が実践できる豊かな人間性を涵養し、基礎的な医療倫理的問題に対処できる。

C. コミュニケーション能力：能動的グループ学習や実践的な体験学習を通じて患者・医師関係やチーム医療に配慮することができるコミュニケーション能力を養い、典型的な課題状況において面接・診察することができる。国際的視野に立ち、医学・医療の国際化に対応できる実践的英語能力を向上させ、英文医学文献から情報収集することができる。

D. IT活用能力：コンピューターの実践的活用ができ、ITを利用した先進的医療や情報管理についての基礎的な知識を持ち、効率的医療の実践や医学研究へと応用できる。

E. 問題提起・解決能力：医学・医療の発展に貢献できる創造的な医師・研究者を目指して、自ら課題を発見・提起でき、論理的に思考し、問題解決や研究へとはぐくみ、その成果を文書及び口頭で発表できる。

F. 医学基盤能力：構造と機能を統合した人体の生命システムのイメージを構築し、生命現象とその機能調節の基本原則を分子レベルから理解し、疾患の原因と病態に関する基礎知識・技能と、医学医療と社会の関連性についての見識を身につけ、基礎的な課題解決に適用することができる。

G. 基本的臨床能力：内科系・外科系領域における主要疾患の病因・病態・診断・治療を総合的に学び、診療参加型臨床実習に必要な基本的臨床能力（知識・技能・態度）を修得し、それを応用して典型的な臨床的問題を解決することができる。

H. 実践的臨床能力：基盤医学系・展開医学系で学んだものを実践的体験学習により統合・発展させ、医師として具有すべき知識及び技能・態度レベルの課題を解決することができる。

I. 先進的医学医療への対応能力：医学・医療の進歩や国際化、社会・時代のニーズに対応できるよう、先進的な医学医療のいくつかを題材として専門知識の応用発展と統合化を図り、その成果を発表することができる。

J. 進路計画能力：地域・国際社会において健康の増進と疾病の予防・根絶に貢献できる基本的な考え方と技能を身につけ、医学・医療の将来を展望し、自ら進むべき方向を決定できる。